

**製品名:** インテグリン  $\beta$ 1 (リン酸化 Tyr795) ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab04853

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	140kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ITGB1
別名	ITGB1; FNRB; MDF2; MSK12; Integrin beta-1; Fibronectin receptor subunit beta; VLA-4 subunit beta; CD antigen CD29
遺伝子 ID	3688.0
SwissProt ID	P05556
免疫原	抗血清は、ヒト ITGB1 の Tyr795 のリン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 749-798

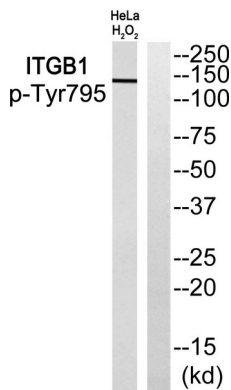
## 背景

CD29は、130 kDの単鎖I型糖タンパク質で、インテグリンβ1、VLA-β鎖、またはgpIIaとしても知られています。白血球（顆粒球にも低レベルで発現）、血小板、線維芽細胞、内皮細胞、上皮細胞、肥満細胞など、造血細胞および非造血細胞の大多数に広く発現しています。CD29はインテグリンファミリーに属し、インテグリンα1-α6鎖と非共有結合して、それぞれVLA-1分子からVLA-6分子を形成します。CD29を含むインテグリンは、いくつかの細胞表面分子（例：VCAM-1、MadCAM-1）および細胞外マトリックス分子に結合します。CD29はフィブロネクチン受容体として機能し、様々な細胞間および細胞-マトリックス相互作用に関与しています。

## 研究分野

軸索ガイダンス、接着斑、ECM-受容体相互作用、細胞接着分子（CAM）、白血球の内皮透過移動、アクチンと細胞骨格の調節、病原性大腸菌感染、がんの経路、小細胞肺がん、肥大型心筋症（HCM）、不整脈性右室心筋症（ARVC）、拡張型心筋症。

## 画像データ



ITGB1（リン酸化Tyr795）抗体のウェスタンブロット解析。右レーン（リン酸化Tyr795）ペプチドでブロッキングされている。